

# 東大阪から自社製品製造の夢託し宮崎・都城に移転

— ユキワ精工ツーリングユーザー訪問 —

## 「創業当時からツーリングと言えばユキワ精工」

2012年から拡大基調継続、2020年には第二工場建設、稼働  
— ヒロフジ精工(宮崎県都城市) — 今別府会長、今別府社長インタビュー



今別府社長(左)とオペレーターの竹田さん



マシニングセンターにはすべてにユキワ精工のスーパーG1チャックが装着されている

途申入社スタッフ指摘する  
「(スーパーG1チャックによる)面粗度や  
触れ精度の高さ、真円形状での高品位」

ユキワ精工の「長は東大阪は当時、たツーリングユーミシを製造する企業が、多く受注内容も大ザーと聞いて、今回、お邪魔したのが宮崎、都城で工業用機械部品や鉄塔関連などを幅広く加工するユキワ精工。対応いただいたのは、今別府社長と創業者で父の今別府会長だ。

「ユキワ精工の製品は、個から300個単位がポリネームだ。今別府社長は「都城に移転した翌年の2008年に、帰って来て、仕事を手伝って、掛けたら翌年の2009年にアメリカでの仕事の整理を終えて入社した。ところが、(第二工場)稼働へと「後遺症」の真ただ中で仕事らしい仕事がない状況に迎えられる。慌てても仕方がないので、機械の習熟や工場管理の在り方など「新しいステージ」への準備に時間を費やし、入社当時を振り返る。

その後、宮崎県が主催する商談会に自社製品を携え参加。受注に繋がり、2012年から拡大基調に突入し、2018年には社長を交代した。仕事量の増加は、従来の工場の延長線上では考えられなくなり、2020年、現在の工場(第二工場)稼働へと繋がっていく。

「ツーリングはユキワ精工との付き合いが長い。この点では他社製の比較ができないが、途中入社したスタッフからは、面粗度や触れ精度の高さ、真円形状の高品位さ等について指摘される」

「創業以来、ツーリングでは何の問題も発生していない」  
「他社からは、なぜ?との質問に遭うこともあるが、何ら問題が発生していないという、古いスーパーG1チャックでも芯出し計測して1000分の5以内。コレットがきゅつと絞ってくれるのがわかる」。

3月には  
大阪営業所開設、  
自社製品製造の  
ステップ実現へ



精度をとことん  
突き詰めると、  
コレット式に辿り着く

高精度ツーリングシステム  
スーパーG1チャック

# ユキワだけ精度を保証!

しています。